



母校の発展を願って

丘友会会長 森 淳之祐



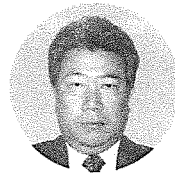
丘友会々員の皆様にはお元気に...

月日のたつ早さを感じ、一日の大切さを良く考えての生活を...

昔から「災害は忘れた頃にやってくる」と申されて居ります...

どうか皆様方のそれぞれの立場の中で防災について...

あじさいの花が一段と美しく感じられる今日この頃、過日、母校、校長室で開催され...



母校を愛するをモットーに

丘友会副会長 (亀高第9回卒) 伊藤 雅雄

編、設備の改修が時代の変化に追従する形で進められて...

八〇%を占めています。 亀山高校にはこの数字が無関係であること...

時あたかも、七月一日から一ヶ月間、全国的に社会を明るくする運動の月間でもあります...

総会のお知らせ

第三十八回(平成七年度)丘友会総会を次のように開催します。ぜひご出席下さいませようお願い申し上げます。



再スタートとなりました。 一方、平成六年度より新しい教育過程による教育が始まり、男女が協力して家庭生活を構築することを自覚させ、生活に必要な知識・技術を習得させるというところから、総りつつあります。

男子が加わったことで、授業に活気がでてきたという指導者の声も聞いております。 以上のように、時代背景の移り変わりに伴い、全体としての教育の流れも大きく変わってまいりました。

リフティング部、陸上部は、県代表として東海高校総体に出場し、健闘してくれました。 生徒の地域理解と社会参加の機会拡大、地域に開かれた学校づくりをねらいとした学校個性化推進事業(地域連携)

独居老人デイサービス等を行います。 例年のように所期の成果をあげてくれるものと期待しています。

次に施設面ですが、昭和三十一年及び昭和四十六年に建築された普通教室棟の第四棟・第三棟の外壁塗装工事が三月末に完了し、見違えるようになりきれいになりました。また第四棟は引き続き内装前面改修を行うことになり、七月下旬より工事が始まります。 昨年度後半より工事を進めていたウエイトリフティング競技場も立派に出来あがり、四月初めより活用しております。

以上が、その後の主な学校の動きです。 最後になりましたが、会員の皆様御健康と一層の御活躍をお祈りいたします。

平成七年度 職員業務報告 教員・事務職員業務報告

新しい教育の流れ

校長 別府 銀孝



この機会に学校の近況を少し報告させていただきます。 学校生活に目的意識を持たせる為に力を入れてまいりました部活動、今年度も県高校学年でのマナー・茶道講習。 総合生活科では、福祉施設訪問、地域諸行事への参加、市内保育園児を迎えての催し、

の高校生に「普通教育としての家庭科」を履修させることになりました。本校でも総ての学科に在学する生徒が「家庭一般」四単位を履修することになり、食物・被服の総体において、幾つかの部が総合生活科では、福祉施設訪問、地域諸行事への参加、市内保育園児を迎えての催し、

の推進校に、今年度も選ばれた次のような活動を計画しています。 情報オフィスコでは、低学年での地場産業見学、高学年でのマナー・茶道講習。

総合生活科では、福祉施設訪問、地域諸行事への参加、市内保育園児を迎えての催し、

の推進校に、今年度も選ばれた次のような活動を計画しています。 情報オフィスコでは、低学年での地場産業見学、高学年でのマナー・茶道講習。

総合生活科では、福祉施設訪問、地域諸行事への参加、市内保育園児を迎えての催し、

の推進校に、今年度も選ばれた次のような活動を計画しています。 情報オフィスコでは、低学年での地場産業見学、高学年でのマナー・茶道講習。

総合生活科では、福祉施設訪問、地域諸行事への参加、市内保育園児を迎えての催し、

問題等幾つかの課題を抱えて

の高校生に「普通教育としての家庭科」を履修させることになりました。本校でも総ての学科に在学する生徒が「家庭一般」四単位を履修することになり、食物・被服の総体において、幾つかの部が総合生活科では、福祉施設訪問、地域諸行事への参加、市内保育園児を迎えての催し、

の推進校に、今年度も選ばれた次のような活動を計画しています。 情報オフィスコでは、低学年での地場産業見学、高学年でのマナー・茶道講習。

総合生活科では、福祉施設訪問、地域諸行事への参加、市内保育園児を迎えての催し、

の推進校に、今年度も選ばれた次のような活動を計画しています。 情報オフィスコでは、低学年での地場産業見学、高学年でのマナー・茶道講習。

総合生活科では、福祉施設訪問、地域諸行事への参加、市内保育園児を迎えての催し、

の推進校に、今年度も選ばれた次のような活動を計画しています。 情報オフィスコでは、低学年での地場産業見学、高学年でのマナー・茶道講習。

総合生活科では、福祉施設訪問、地域諸行事への参加、市内保育園児を迎えての催し、

卒業生はいま……

ひと昔の—想い出—

北澤 としゑ (定時制七回卒)



気持のよい朝日のまなざし、
ビービー。チッチッチッ小鳥
たちが、おはよう……と言葉を
かけあって……

一日の疲れがふつ飛んでしま
いました。ときには三才の子
供を自転車に乗せていき、教
室で同じく静かに絵を画かせ
たりして側にいました。一番
困ったことは終了チャイムが
九時五分で外に出ると自転車
が雨に濡れ家に帰ることが苦
勞でした。

昭和三十六年三月、高等学
校を卒業した私たちといえ、
昭和二十二年に小学校(当時
は国民学校)を卒業したわけ
である。まだ旧制度なので、
そのまま小学校を卒業した者、
高等科や旧制の中学校に進学
する者など、それぞれに散っ
ていった。第二次大戦も終局
に近い、日本苦戦の当時、卒
業や入学のたった一枚の写真
すら贅沢品、「はしがりがませ
ん、勝つまでは」と国のため
にと云いきかされた時代だっ
た。

節目に育った私たち

山中 美奈子 (渡邊) (亀高第三回卒)

昭和三十六年三月、高等学
校を卒業した私たちといえ、
昭和二十二年に小学校(当時
は国民学校)を卒業したわけ
である。まだ旧制度なので、
そのまま小学校を卒業した者、
高等科や旧制の中学校に進学
する者など、それぞれに散っ
ていった。第二次大戦も終局
に近い、日本苦戦の当時、卒
業や入学のたった一枚の写真
すら贅沢品、「はしがりがませ
ん、勝つまでは」と国のため
にと云いきかされた時代だっ
た。

私も死ぬまで茶華道の研究
をつづけ、指導を行って参り
たいと思っています。
の感があったように思えた。
やつと落着けたらと思ったが、
今度は新教育制度(いわゆる
六・三・制)の発足に伴い、
多くの友とも別れねばならな
かった。それは、高校への進
学を断念して三年で卒業する
人たちの別れだった。(当時
は特に女性にとっては十二年
の学校生活は長すぎるという
のが社会通念であった)と同
時に男女共学の実施と共に、
亀山にあった二つの学校が統
合し、亀山高校となり名実共
に新制度による高校一年とし
て入学したのだった。
しかし、まだそれだけでは
終らなかつた。翌二十四年学
区制が実施され、亀山高校の
学区外からの通学者は、それ
ぞれの学区に移動、またそこ
にも別れがあった。しかしこ
のことは、亀山から他の学区
に通っている人たちが亀山に
もどるということであり、そ
れは新しい人を迎える喜びで
えられる者とも何か手ざかり
もあつたのだった。

そして、二十六年三月第三
回生としての卒業を迎えるこ
とになるのだが、同じ卒業生
でも、旧制から引き続いての
六年間、新制になってからの
三年間、または学区制実施後
の二年間だけという仲間の
集り、戦後の教育改革を諸
に受けた当事者でもあつた。
それだけに、旧制に愛着をもっ
ている者も少なくないが、校
章を始め胸章の制定、校歌も
応援歌も私たちの在学中に出
来たもの、亀山高校の礎を築
いた誇りは私たち一人ひとり
誰もが持っている。今のよう
な立派な校舎や設備はなかつ
たけれど、真理を求めて純粋
に生きる若人の熱気は十分持
っていた。またよく語り合った
裏の松林は、当時の私たちに
とって、何よりも心安らぐ、
美しいところでもあつた。
あれからやがて半世紀を迎
える今年五月十二日、記録的
な豪雨の中であつたが、長
島温泉花水木に集まつた四十
五名、すでに六十の坂を登り
つつある今でなければこそ、
語り合えぬ充実した一夜を明
かしたのだった。何と云って
も同窓の集いの楽しさは、ま
ほやかなる紅茶の香りの
向ふには
なつかしき顔
あまた集へる
名札なくばわからぬ顔も
少しずつ
面影の湧く四十年後も
それぞれに人生の重み
貯へて
同窓生の柔らかなる顔
福井 都(森川)
一人またひとりとその計報
に接する今、有志の会を発足



平田 庄三 (亀高第一回卒)

六十五才からが「実りの収穫期」

母校は、鈴鹿高女として創
立され、幾多の変遷を経なが
ら戦後の学制改革により現在
の亀山高校と改称され、今日
に至りました。
この間、歴代校長先生を始
め教職員各位の
ご尽力とPTA、
丘友会、クラブ
活動後援会など
の協力により、
子弟教育に多大
の業績を積み重
ねられ、今日にみる、輝かし
い歴史と伝統を築かれた事に
対し、深甚なる敬意を表する
次第であります。

母校の関係者各位におかれ
まして、新しい時代に即応
した教育の推進にご精進をい
ただき、輝かしい歴史と伝統
に立って、亀山高校が、これ
からも一層の発展を遂げられ
るのとともに、丘友会の皆様方
の益々のご活躍とご健勝をお
祈りいたします。



亀山高校第3回同窓会 平成7年5月12日 於 ホテル水木別館

さて、歳月の流れは行く川
の如し、私達一廻生も、高齢
でも平等にいただける、天か
らの授かりです。
知識としての記憶力は衰え
さらけ、感謝の「ありがとう」
を忘れず、懸命に努力し、
職責を全うする心構えでおり
ます。
母校の関係者各位におかれ
まして、新しい時代に即応
した教育の推進にご精進をい
ただき、輝かしい歴史と伝統
に立って、亀山高校が、これ
からも一層の発展を遂げられ
るのとともに、丘友会の皆様方
の益々のご活躍とご健勝をお
祈りいたします。

- 教諭(英語) 田中 留美 (四日市南高等学校)
主事 西口 卓 (伊賀県民局上野県事務所)
・退職
期付(国語) 服部 千佐
期付(数学) 伊藤 豊次
期付(家庭) 松田 充代
② 転入、新任
・転入
事務長 山口 照一 (県教育委員会事務局文化振興課)
教諭(社会) 豊嶋 孝 (宇治山田商業高等学校)
教諭(英語) 宮崎 典子 (石薬師高等学校)
教諭(美術) 長谷川八兄 (四日市工業高等学校)
主事 梅田 宣敬 (津地方民局津県事務所)
・新任
教諭(理科) 山口 一
教諭(商業) 杉浦 恵子
教諭(家庭) 高橋 潤子
期付(国語) 永戸 幸子
期付(家庭) 鈴山いずみ
させ隔年毎に集まろうじやないかとの相談もまとも、次回の開催予定も既定、その準備にとりかかっている。お一人でも多くの方のご参加を得たく、この誌上をお借りしてお知らせを。
次回予定
平成九年五月十七日(内)十八日(金)
箱根・強羅温泉
世話役
関東方面
詳しいことは
佐々木克二
(〇五九五一六〇〇五八)まで

# 仏教音楽へのこだわり

野 田 義 道  
(亀高第八回卒)



仏教音楽（聲明と言う）の起源は遠く中国より仏教伝来の歴史までさか昇る。日本では東大寺大仏開眼供養の時、四人の僧を招いて催した法要がある。私が本格的な聲明に出合ったのは「父の死」であった。葬送の日、聲明師の唱える「九條錦杖」に心うたれた。

父の跡を継承してお寺の世話をするようになった。多くの法要、会合、講習にも出た。その節々で祖父や父をよく知る古老僧と席を同じにした。古老は「お前の祖父は法華經誦誦の達人であった」。「父は学問をよくし、法儀式に長けていた。」と二代に亘る祖父、父の偉さを聞かされた。最後に「世の中三代目は出来が悪い」と言う。お前も三代目やから頑張りな……と釘を打たれてしおれるのがおちであった。

私には祖父を、父を越えるものは何もない。祖父は父の享年は八十三であった。堀田要治先生は戦時中に東京から亀山に疎開され、亀山高専学校の前身の高等女学校の教員になられ、制度の変更で亀山高専学校が誕生したときそのまま高校

十一才の時亡くなった。父は自分の法戒名に自ら「黙阿」と号したように黙って私を見ていてくれた。好きな道を歩ませてくれた。三十余才の頃私が断末魔の苦しみの中でも寛大寛容であった。黙って許してくれて。その父や祖父の偉大さに近づきたくもなかった。その頃、聲明の大家と言われる先生に巡り合い聲明について話を承り、父の葬送の時間いた聲明を本格的に学ばんと決心した。学びはじめて爾來二十年、仏教音楽にこだわっている。一日の勤務を終え、疲れ切った身体にムチ打ち、志を同じゅうする法友二人と遠く大津にある先生の自宅まで通った。会得は遅々として進まず。「止めようか」と何度か話したところ、友の励ましでこのつらさを越えた。

そのうちの先輩一人が先に往き、今はない。的がなくなつた空しさは今もある。聲明師ばかりの団体として法儀研修所が出来た。その会員となり末席をけがす。お陰で今日まで公演という大きな舞台に何度も立たせてもらつた。ストラズブルグに於ける東洋音楽の代表としてわが宗の聲明の披露をはじめとして、大阪・広島・津・亀山と公演会を開き、最近では国立劇場、津総合文化センター開館行事、大津市伝統芸能会館開館行事……と舞台は続く。

こざわり続けて丁度二十年経つ。あつという間の時間であった。「おい、お前、人間死ぬまでこざわり続けるものを持つていても悪くはないぞ。お前の人生も折り返し点をすていでいき、残り終焉に向かって歩んでいる」と声がする。「雀百まで踊り忘れず」と言う。奥義を極めるにはもう時間も力量もない。五濁の悪世に生まれ、妄念の中で笹船の如くゆれて来た人生、泥の中から芽を出す蓮が紅蓮の花を咲かせること

# 我が人生における最大の財産

吉 田 光 浩  
(亀高第三十回卒)

平成二十二年十月、私をはじめ、歩みを模索するカンボディアの家族にとって大きな転機となった時である。平和と安定に向けて、一人ある。日本という範囲にとど

こざわりたい。今私にあるこざわりを一言で言うならば、「聲道心」である。我が人生の終りの時、この言葉を引つ下げて旅立ちたい。そう思い乍ら今日も聲明道に励む昨今である。

まることなく、世界各国の警官とともに勤務し、「今より一段高い視野に立ち、自分や日本を見つめてみたい」というのが志願の理由である。しかし、この物質文明豊かな国から、突然、電気もなく水さえ乏しい国に入国し、一時間もたたないうちに、自身自身の考えの甘さと無力を実感する羽目となったのである。水道の蛇口をひねればいっでも水は出る。暗くなれば電気がつく。このような当たり前の当然の生活の中で生まれ育った私にとっては、「まず水を確保する」「ご飯を炊く前には薪を集める」こんな想像を絶する生活が待ちかまえていたのである。目の前に広がるのは、あまりにも広大な大自然である。この大自然の前に、日々無力な自分との戦いが始まったのである。

周知の通り、私たちは現地での同胞のボランティア中田厚仁氏の計報に接し、その悲しみが醒めやらぬうちに、同僚高田警視をタイ国境付近のアンビルで失うという、この上なく哀しい体験をした。七五名派遣された同僚隊員のうち八名が任期の途中で帰国した。今でも生前現地で、カンボディアの復興のため活躍している高田警視の面影は、私の心に生々刻まれることとなったのである。

高田警視と私は同年であるが、彼のあらゆる物事に対する取り組み姿勢には、頭が下がる。日本国の代表として、カンボディアの復興のため、若き命を捧げた高田警視。今我々無事生還した隊員に与えられた使命は、残された彼の子供に、「偉大な父、高田晴行」を伝えることである。

# 堀田要治先生を悼む

酒 井 シ ツ  
(亀高第六回卒)

平成六年、昨年の夏は記録的な猛暑の夏であった。その年の八月三日、堀田先生が亡くなりました。その唐突な報せを受けたとき本当に驚いた。というのは先生はそれより七年前に脳血栓で倒れたが、すっかり健康を取り戻されておられたと聞いていたからである。また近くに住んでいることからときどき電話で近況を伺うと昔とまったく変わらない元気な声で話されていた。後で聞いたところでは亡くなる二十日ほど前までは全く普段と変わらず、その時から食欲がなくなり、十日ほど入院されて心不全で亡くなったという。明治四十四年生まれの先生の

享年は八十三であった。堀田要治先生は戦時中に東京から亀山に疎開され、亀山高専学校の前身の高等女学校の教員になられ、制度の変更で亀山高専学校が誕生したときそのまま高校

若いときから老大家の風貌であった先生は亡くなられるまで変わらず、引退されてからは「サンデー毎日」ですと悠々自適の生活を楽しまれてきたが、ラジオ音楽をテープにとって楽しむなど意外な面もお持ちであった。脳血栓で倒られるまではクラス会の集まりにも顔をだし、教子さんの成長

たが、そこでも暖かい人柄の先生はひとときわ目立つた親しみと尊敬を受けておられた。若いときから老大家の風貌であった先生は亡くなられるまで変わらず、引退されてからは「サンデー毎日」ですと悠々自適の生活を楽しまれてきたが、ラジオ音楽をテープにとって楽しむなど意外な面もお持ちであった。脳血栓で倒られるまではクラス会の集まりにも顔をだし、教子さんの成長

たが、そこでも暖かい人柄の先生はひとときわ目立つた親しみと尊敬を受けておられた。若いときから老大家の風貌であった先生は亡くなられるまで変わらず、引退されてからは「サンデー毎日」ですと悠々自適の生活を楽しまれてきたが、ラジオ音楽をテープにとって楽しむなど意外な面もお持ちであった。脳血栓で倒られるまではクラス会の集まりにも顔をだし、教子さんの成長



アンタック 向かって左側が吉田光浩

プロフィール 吉田光浩氏(第30回卒)

関中学当時野球部、亀山高専でウェイトリフティング部、7代目主将。中京大学体育学部体育学科、ウェイトリフティング副将。卒業と同時に警視庁へ昭和60年に三重県警に移籍。平成2年10月～平成3年7月まで、総理府より文民警察官としてカンボディアに本県最初の派遣者となる。現在、久居署生活安全課長

(記、平岡)

日本国の代表として、カンボディアの復興のため、若き命を捧げた高田警視。今我々無事生還した隊員に与えられた使命は、残された彼の子供に、「偉大な父、高田晴行」を伝えることである。時は流れ、三年が経過した今日では、国民自身も、「アンタックってなあに」という具合である。今日、自分が家族と平穏な生活が送れる感謝の気持ちをお忘れず、この貴重な経験を生かしていきたい。不平不満をよく口に出す私であったが、このカンボディア派遣は、私をはじめ私の家族、親戚一同にいたるまで、自分を改めて見つめ直す人生の絶好の転機となったのである。



# 各クラブ 健闘!!

各クラブとも部員数の少ない中、ハンディを感じさせない頑張りにより、六月三日～五日北勢地区を中心で開催された県総体で優秀な成績を取めました。ここにその主な戦績を紹介し健闘をたたえ、今後の活躍を期待します。

## 「女子バレー部」

身長差をもろともせず、春季大会準優勝と力強い活躍をしている女子バレー部ですが、亀山・四日市商・松阪商・津商の四校による決勝リーグで、本校は初戦四日市商に2-0でストレート勝ち、続く松阪商戦・津商戦では善戦及ばずそれぞれ0-2で惨敗した。

## 「女子ソフト部」

新チームになってわずか選手九名、マネージャー一名でスタートし一年間厳しい練習によく耐え、好成績を残した。初戦、シード校の稲富高5-0の完封勝ち。続く神戸高戦では延長戦の末1-0で勝ち準準決勝名張桔梗に3-1で勝ち勢に乗り準決勝四日市商と対戦、借しきも2-1で敗れ三位に終わる。

## 「ウエイトリフティング部」

六月四日に四日市中央工業で行われた。64kg級の矢野義和がジャーク107・5kgに成功し、みごと優勝を飾った。また、76kg級の中西武士(二年)

と91kg級の天野哲日(三年)がそれぞれ二位、70kg級の山田真一(二年)が三位入賞となった。二年生が上位入賞しているの、来年、より一層の活躍を期待している。

## 「陸上部」

男子走高跳で宮崎清次が新人戦五位から著しい成長をみせ二位入賞、また4×100リレー(渡辺、稲富、夏口、貝増)で六位入賞となった。二年生主体のチームなので来年は全国、東海各大会に出場が期待される。

## 「女子バレー部」

一回戦 亀山高 1-2 本巢高(岐阜二位) フルセットの末敗退

## 「陸上部」

男子走高跳 宮崎清次 190cm  
4×100リレー(渡辺、稲富、夏口、貝増) 43秒35

## 「ウエイトリフティング部」

64kg級 矢野義和(三年) トーナル 197・5kg 三位入賞  
76kg級 中西武士(二年) トー

## 全国高校総体出場

ウエイトリフティング部は八月に鳥取県で行われる全国高校総体以下の選手が三重県代表選手として出場します。64kg級 矢野義和(三年) 76kg級 中西武士(二年) 矢野選手は強化トレーニング中の骨折から復帰し代表権獲得、また中西選手は二年生ながら代表権を獲得しました。両選手の全国大会での活躍が期待されます。

この県総体等の結果により六月二十三日から二十五日に静岡県を中心に行われた第四

期待されます。

今年も七月一日より求人員の受付が始まります。本校では二百名余りの生徒が就職を希望しております。昨年より一層の就職難が予想されますので指導部一同大変心配しております。企業も大規模になる程、採用枠については厳しく、二、三年採用ゼロという企業も相当ててきております。ただ規模が中小となりますと、高卒者採用枠もあり、今年もこのあたりの求人数が増加するのではないかと考えています。本校の地域は関、亀山、鈴鹿がほとんどで津、四日市、上野は少なくなります。採用スタイルも例年変わってきて、面接・筆記試験・適性検査等を行ない、よりよい生徒を採用となつてきています。学校長推薦を付けても不合格ということも多々あります。

男子よりも女子は求人員も少なく、職種も事務職はほとんどなく、販売・営業職も求人はいたできません。試験を受けるのに合格になる場合が多いので心配していません。進学につきましてはほとんどが短大・専門学校への進学で四大への進学者は例年二十

## 進路を決めるにあたって

進路指導部主任 和田 文子

自分の選択科目、何よりも英語・国語等はその場合も必要になってきますので補習講座を受け、模試で力を試してみますし、どうしても面接、小論文は必要です。作文とちがって書くという事は、表

自分の選択科目、何よりも英語・国語等はその場合も必要になってきますので補習講座を受け、模試で力を試してみますし、どうしても面接、小論文は必要です。作文とちがって書くという事は、表

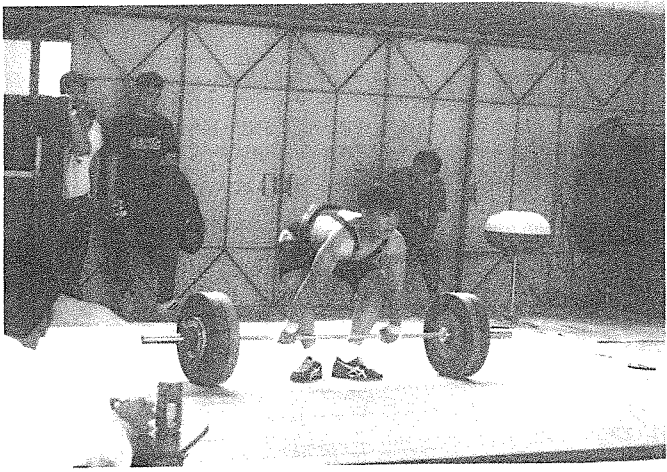
## ☆ 進学・就職者の分類

課程性別	課程性別		計	普通科		商業科		家庭科	保育科
	男	女		男	女	男	女		
進路									
四年制大学	10	8	18	9	6	1	1	0	1
短期大学	5	44	49	5	30	0	2	3	9
専門学校	36	36	72	30	18	6	7	6	5
小計	51	88	139	44	54	7	10	9	15
就職者	71	131	202	59	46	12	43	28	14
進学希望者	2	0	2	2	0	0	0	0	0
家事・自営・他	6	14	20	6	5	0	2	2	5
総計	130	233	363	111	105	19	55	39	34

## 事務局紹介

- ① 氏名
- ② 卒業回数
- ③ 教科

- ① 福島恭子
- ② 10回普
- ③ 図書館司書
- ① 平尾栄司
- ② 15回商
- ③ 商業
- ① 坂キヌ子
- ② 16回商
- ③ 家庭
- ① 服部久生
- ② 20回普
- ③ 国語
- ① 沖田みどり
- ② 28回商
- ③ 保健体育
- ① 森浩之
- ② 35回普
- ③ 保健体育



丘友会事務局は、母校に勤務する卒業生が交代でその任にあたっています。今年はその六名で担当することになりました。微力ではありますが、会の発展と年に一度の会誌の充実、お役に立てればと思っています。つきましては、会員の消息、クラス会開催の情報等、丘友会に関する事でしたら何でも結構です。お気軽に事務局までご連絡下さい。会誌を通じて紹介したいと思っています。(電)〇五九五八一三三四五六〇